

J S Q C 規格の開発・制定に関する提案書

規格の名称	プロセス保証の指針
規格の種類	○ 1. 規格 (JSQC-Std) 2. テクニカルレポート (JSQC-TR)
規格の適用範囲	総合的品質管理 (TQM) の一貫として、組織において行うことが推奨されるプロセス保証の方法
規格の利用者	TQMを実践する組織、およびTQMを評価・診断する組織
制定のねらい	<p>プロセス保証とは、「プロセスのアウトプットが要求される基準を満たすことを確実にする一連の活動」であり、新製品開発管理とともに、品質保証（顧客・社会のニーズを満たすことを確実にし、確認し、実証するために、組織が行う体系的活動）の中核をなす活動である。工程能力調査やプロセス解析・改善、工程FMEAや検査、QAネットワーク（保証の網）など、日本の品質管理の特徴をなす多くの要素を含んでいる。</p> <p>しかし、ISO 9001の普及とともに、保証=Assurance（どのようなニーズを満たすのかを顧客・社会との約束として明文化し、それが守られていることを証拠で示し、信頼感・安心感を与える活動）と捉えられることが多くなり、プロセス保証の内容について十分な理解のないまま、品質保証にとりこんでいる組織が少なくない。</p> <p>JSQCとして、プロセス保証に関する基本的な考え方、取り組むべき主要な活動、その実践において役立つ手法を一つのパッケージにまとめ、わかりやすく解説した規格を発行することは、社会における品質保証の理解をより確実なものとし、製品・サービスの品質の向上に貢献する上で大切と考えられる。</p> <p>本規格は、製造やサービス提供に焦点を絞り、プロセス保証に関わる重要な概念および方法に関して、学会として統一的な見解を示し、TQMのさらなる普及・発展のための基盤を提供することを目的とする。</p>
制定によって期待される効果	<p>(1) プロセス保証に関する概念および方法がわかりやすいものとなり、TQMの普及が容易になる。</p> <p>(2) プロセス保証があまり実践されてこなかった分野（サービスや営業など）へ普及を促進できる。</p>
制定によって影響を受けると思われる組織・人	<p>(1) TQMを実践している組織</p> <p>(2) ISO 9000シリーズの制定、それを用いた認証制度を運用・活用している組織</p> <p>(3) 安全・安心の確保が重要となる社会インフラを支える組織</p>
制定までのおおよそのスケジュール	<p>(1) 2014年3月末 作業原案の作成</p> <p>(2) 2014年4月～2014年6月 審議委員会による審議とパブリックコメントの募集</p> <p>(3) 2014年9月 規格の発行</p>
原案作成に当たって参考となる資料	<p>(1) 標準委員会編（2006）：「TQMの基本」、日科技連出版社</p> <p>(2) 日本品質管理学会（2010）：「品質保証ガイドブック」、日科技連出版社</p>
提案委員会・研究会・部会名	日本品質管理学会 標準委員会 (原案作成WGを編成する)